

令和 8 年舟形町議会
第 1 回臨時会会議録

舟形町議会

令和8年第1回舟形町議会臨時会会議録

招集年月日 令和8年1月13日

招集の場所 舟形町議会議場

開 会 1月21日 午前10時00分

応招議員（9名）

1番 伊藤 廣 好

7番 佐藤 広 幸

2番 叶内 昌 樹

8番 八 鋏 太

3番 荒澤 広 光

9番 石山 和 春

5番 小国 浩 文

10番 斎藤 好 彦

6番 奥山 謙 三

不応招議員（1名）

4番 伊藤 欽 一

令和8年1月21日（水曜日）

第1回舟形町議会臨時会会議録

（第1日目）

令和8年第1回舟形町議会臨時会

令和8年1月21日（水）

出席議員（9名）

1番 伊藤 廣 好	7番 佐藤 広 幸
2番 叶内 昌 樹	8番 八 湊 太
3番 荒澤 広 光	9番 石山 和 春
5番 小国 浩 文	10番 齋藤 好 彦
6番 奥山 謙 三	

欠席議員（1名）

4番 伊藤 欽 一

地方自治法第121条の規定により説明のため議場（会議）に出席した者の職氏名

町 長 森 富 広	新規就農・女性活躍支援室長	岡崎 千恵子	
副 町 長 伊藤 幸 一	地域整備課長	伊藤 秀 樹	
総務課長 兼選挙管理委員会書記長	鍛冶 紀 邦	地域強靱化対策室長	伊藤 英 一
デジタルファースト推進室長	佐藤 仁	会計管理者	相馬 広 志
まちづくり課長	曾根田 健	総務課財政係長	仲野 健 太
ふるさと応援推進室長	野尻 誠	教 育 長	浅井 純
住民税務課長	豊岡 将 志	教 育 課 長	森 英 利
健康福祉課長	沼澤 一 征	監査委員事務局長	大場 健 一
農業振興課長 兼農業委員会事務局長	齋藤 雅 博		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長 大 場 健 一 事 務 補 助 員 大 場 正 江

議事日程

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 議員派遣の報告

日程第5 最上広域市町村圏事務組合議会議員の選挙

日程第6 町長あいさつ

日程第7 議案第1号 令和7年度舟形町一般会計補正予算（第5号）について

日程第8 議員派遣の件

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時02分 開会

議長 ただいまの出席議員数9名です。定足数に達しております。

ただいまから令和8年第1回舟形町議会臨時会を開会いたします。

直ちに会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長が指名をいたします。5番小国浩文議員、9番石山和春議員の両名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

議長 日程第2 会期の決定についてを議題といたします。

会期の発言は、八鍬議会運営委員長よりお願いをいたします。

8番 それでは、私から、本日開催されました議会運営委員会において、令和8年第1回臨時会の会期について協議いたしましたので、ご報告をいたします。

令和8年第1回舟形町議会臨時会の会期は、本日1日限りとすることに決定しましたので、ご報告いたします。

議長 お諮りいたします。本臨時会の会期は、八鍬議会運営委員長報告のとおり、本日1日限りとすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りとすることに決定をいたしました。

日程第3 諸般の報告

議長 日程第3 諸般の報告については、議案書掲載のとおりです。朗読は省略をいたします。

日程第4 議員派遣の報告

議長 日程第4 議員派遣の報告については、議案書掲載のとおりです。朗読は省略いたします。

日程第5 最上広域市町村圏事務組合議会議員の選挙

議長 日程第5 最上広域市町村圏事務組合議会議員の選挙を議題といたします。

最上広域市町村圏事務組合議会は、組合規約第5条第2項の規定により、町村議会の議長と議員の中から選任された1名をもって組織されております。また、同規約第7条の規定に、組合市町村議会の議員の中から選任された組合議員に欠員が生じたときは、当該議会は速や

かに後任者を選任しなければならないと定められております。

現在、本議会から選任されている伊藤欽一議員より、1月13日付で辞職願が同事務組合に提出され、20日をもって受理されており、現在は欠員の状態となっております。したがって、最上広域市町村圏事務組合議会規約第7条の規定により、速やかに後任を選任しなければなりません。そのため、議長を除く議員の中から1名についての選挙となります。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選としたいと思っております。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法は指名推選で行うことに決定をいたしました。

お諮りいたします。指名の方法につきましては、議長が指名することにしたいと思っております。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 異議なしと認めます。したがって、議長が指名することに決定をいたしました。

最上広域市町村圏事務組合議会議員は、奥山謙三議員を指名をいたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました奥山謙三議員を最上広域市町村圏事務組合議会議員の当選人と定めることにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 異議なしと認めます。よって、奥山謙三議員を最上広域市町村圏事務組合議会議員の当選人と決定をいたしました。

日程第6 町長あいさつ

議長 日程第6 町長挨拶をお受けいたします。

町長 おはようございます。

本日は、令和8年第1回舟形町議会臨時会を招集しましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中ご出席賜りまして誠にありがとうございます。

気象庁では、今日21日から25日頃にかけて、今期最強最長寒波が襲来すると警戒を呼びかけております。町では、舟形地区等で1メートル50センチ、西又、松橋地区で2メートルを超えた場合に豪雪対策本部を設置することになっておりますが、1月21日今日時点の各地区の積雪深は、野地区71センチ、長沢地区70センチ、舟形地区61センチ、堀内地区75センチ、西又地区107センチ、松橋地区116センチという状況でありますので、豪雪対策本部の設置については、今後の降雪状況を確認して判断をしてみたいと考えております。

さて、本臨時会に提案します案件は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金並びに

物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金に伴う一般会計補正予算1件でございます。提出いたしました議案についてよろしくご審議の上、ご決議賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

日程第7 議案第1号 令和7年度舟形町一般会計補正予算（第5号）について

議長 日程第7 議案第1号 令和7年度舟形町一般会計補正予算（第5号）についてを議題といたします。提出者の説明を求めます。

総務課財政係長（朗読、説明省略）

議長 これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

1番 それでは、私のほうから14、15ページ、歳出ですけれども、第2款総務費第1項総務管理費の22目総合経済対策費の3番の物価高騰対策プレミアム付き商品券発行事業補助金2,860万2,000円の事業内容の説明をお願いします。

ふるさと応援推進室長 ただいまのご質問のプレミアム付き商品券発行事業につきましては、今年度も行っている事業と同じような形にはなりますけれども、1万円で1万3,000円分の、30%のプレミアムがついた商品券のほうを発行させていただいて、冊数につきましては9,000冊を予定しております。実施時期につきましては来年度になるというふうなことで予定しております。

以上です。

1番 発行時期については来年度というような話なので、大体いつ頃というのは予定していませんですか。

ふるさと応援推進室長 発行時期につきましては、実施時期は商工会のほうと協議をして決定していくこととなると思います。ただ、以前に議員さんのほうから早期の発行というようなことであったり、年金支給月にしてほしいというようなご意見もいただいておりますけれども、今回、舟形ほほえみ応援商品券という配布型の商品券もございますので、今現在、想定されるのが7月頃の発行になるのではないかなというふうに想定しております。

1番 町単独のというか、地域商品券も1人2万円の交付というのも予定されているんですが、やっぱり物価高騰、そういうところを踏まえますと、切れ目ない支援というか、そういうのも大事だと思いますので、その辺よろしくお願ひしたいと思います。

あと先ほど、発行部数が9,000冊というようなことあったんですけれども、昨年11月発行した商品券については、1人たしか2冊というかそういう内容で発行になったんですが、それと比較して、発行の規模というのは同じぐらいなんではないでしょうか、大きくなるのか、その辺をお願いします。

ふるさと応援推進室長 冊数ですけれども、今のところ商工会のほうと協議をしながらという

ころではございますけれども、大体1人当たり3冊ぐらいがめどではないかなというふうに思っております。

議長 ほかにございませんか。

2番 歳出のほうですけれども、14、15ページの3-2-1の22総合経済対策費でありますけれども、説明欄のほうで9番保育園完全給食導入事業でございますけれども、これは全協のほうで説明を受けたのですけれども、お茶わんとかいろいろ器具をそろえるようですけれども、今回3升炊きのIH炊飯ジャーに、ガス釜ではなくてこのIHにした理由とかあれば教えてください。

教育課長 ただいまの保育園完全給食に係る炊飯器の、ガス釜ではなくてIHにした理由なんですけれども、これについては保育所のほうとも協議した結果、IHの炊飯ジャーのほうがということで決定をさせていただいたところでございます。

以上です。

2番 調理人さんの意見であればいいんですけれども、ガス釜のほうがおいしいのかなとちょっと思ったもので、やっぱりIHだとスイッチを押せば保温もできていいんですけれども、保育園の調理人の方の意見であれば仕方ないのかなと思いますけれども、小学校、中学校ともガス釜という形になってますので、おいしい給食であればガスのほうがよかったのかなと思ってる意見でしたけれども、分かりました。

議長 答弁はいいですか。ほかにございませんか。

3番 私も同じページになります。15ページ右側ですけれども、4番の舟形ほほえみ応援商品券発行事業9,274万4,000円ですけれども、その中でほほえみ応援商品券発行事業補助金9,126万円置かれていますけれども、これの具体的な内容を改めてお聞きしたいと思います。

ふるさと応援推進室長 こちらの補助金につきましては、今回、舟形ほほえみ応援商品券ということで、町民1人当たり2万円の商品券を配布する事業となっておりますけれども、町が発行した商品券の事業所で使われまして、換金のほうを商工会のほうにお願いしたいというようところで、大きなところでは換金の作業に係る補助、それから振込の手数料であったりというところで、消耗品も含めまして細々とした金額ありますけれども、大きくは換金に係る経費というところでございます。

3番 分かりました。今回、1人2万円ということで全協の中では4,525人を見込んでおるようですけれども、この数字で今現在よろしいでしょうか。

ふるさと応援推進室長 ただいまのご質問ですけれども、私のほうで1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人数というのが4,525人というふうに認識しておりまして、さらに、これから生まれる子供さんにつきましては、7月末までにお生まれになって8月13日までに住民基本台帳のほうに登録された方につきましても、随時追加で交付していきたいというふうに

考えております。

3番 2万円の商品券ということで分かりましたけれども、これを2万円の金額を決める段階ですけれども、全額商品券なのか、例えばですけれども、半分を現金、半分を商品券というふうな案は出なかったのか一つお聞きしたいと思います。

ふるさと応援推進室長 ただいまのご質問ですけれども、検討する段階においては、現金と、現金で配布というか、そういったところも検討されたところでございます。

議長 ほかにございませんか。

2番 同じページの、同じ4番ほほえみ応援商品券でありますけれども、今回答ありますけれども、地域によっていろんな支出の仕方があります。それで、今回は物価高騰、エネルギーということですが、ちょっと全協のほうでもお話ししたんですけれども、やはり町内の食料を扱う業者というのがやっぱりもうなくなっている地域もありまして、なかなか商品券を2万円分、1人2万円分をやった場合の使い道がなかなか町内であるニコットさんであっても、調理的なもの本格的なものではなくて、ホームセンター的に食料が入っているような感じになります。まだ地域には残っている業者がありますけれども、やはり2万円の給付の在り方について、物価高騰、食料的なものを考えると町内で使えるというのは当然必要だと思うんですけれども、今仕事が新庄市だったりする場合に、やっぱり共通券的な、使える、半分は地域で使える、あと半分は地域でも使えてほかでも使える共通券的なものがなかったのかなと思っていたんですけれども、やはり結局使い道が困るということと言われることも結構あるので、ちょっとその辺の検討もしたのかお伺いします。

ふるさと応援推進室長 ただいまのご質問ですけれども、こちらのほうで検討した際には、現金での給付というところは検討したところでございまして、実際、共通券的なものについてはちょっと検討の内容には実際には入っていなかったということが実情でございます。議員がおっしゃるとおり、使い勝手がいいのはやはり現金であったり、そういったところというふうに思いますけれども、検討の中で、生活者の支援に加え事業者への支援にもつながればというふうなところで、商品券ということでさせていただいたところでございます。事業者におきましても、物価高騰や、最低賃金のほうも12月23日から1,032円ということで、77円引上げとなりました。人件費の上昇に伴いまして、人材確保なども大変なのではないかなというふうに考えているところでございます。また、現金給付というふうになった場合、今回低所得者を対象にしたものではないというところでございまして、預貯金に回る可能性もあるかというふうに思われます。できれば、今回配布する商品券で物価高騰による負担軽減と地域経済の活性化につながればというふうなところで、商品券とさせていただいたところでございますので、ご理解いただければというふうに思います。

以上です。

2番 そこは分かりますけれども、やはり今回の物価高騰対策に対しては、各市町村の町の在り方とか、町の状況とかあると思いますので、ほかで商品券ということでやっていて、じゃあうちも商品券ということではなく、やはりその町に合った、ニーズに合ったような給付が望ましいのかなと思っています。ニコットさんが舟形町に入ってもらいましたけれども、やはりニコットさんは北海道の事業者であります。であれば、もし可能であれば、例えば県内企業のヤマザワさんの商品券と町と提携して共通券をつくるかそういうことをすれば、やはりその町でも利用できて、県内企業の方もできるということもなるのかなと思いますので、今回は分かりましたけれども、今後、町でするためには町の状況も把握しながら、そういうふうな割当てをしてほしいと思います。

以上です。

ふるさと応援推進室長 ありがとうございます。今回につきましては、早急に、できるだけ早く町民の方にといいようなところもございまして、ちょっとご理解いただければというふうに思いますけれども、今ご提案いただいたような内容についても今後検討していきたいというふうに思います。

以上です。

議長 ほかにございませんか。

1番 16、17ページになりますけれども、第6款農林水産費第2項の林業費の1目林業振興費、12月にも補正があったんですが、鳥獣被害対策事業の217万4,000円の主な事業の内容についてお尋ねしたいと思います。

農業振興課長 ただいまのご質問にお答えします。

こちらの予算につきましては、指定管理鳥獣対策事業交付金という環境省の熊対策の事業に取り組む予算でございまして、12月補正の予算については、県への要望額、要望したんですけれども、その一部だけ予算がついたというふうな状況でありまして、その後、国の補正予算を経まして予算増額になり、増額の内示を頂戴したもので、必要な装備品等を整備するものでございます。こちらについては、装備品のほかにも、猟友会さんとかいろんな捕獲活動等に従事する方の報償費であったり、保険料または緊急銃猟とかで銃を撃って、銃で捕獲する方の委託料とかを経費計上させていただいております。こちらは総額で75%補助の補助事業になってございます。

1番 補正予算を整備して、今後については、熊については緊急銃猟の体制を今後舟形町としても取っていくという、そういう理解でよろしいでしょうか。

農業振興課長 装備等はこのように整備をいたしますけれども、できるだけやはり緊急銃猟はリスクが高いものですから、最後の最後の手段というふうな位置づけとして考えてございます。

1番 熊以外でもイノシシの対策ということで、町民の方が困っているというような現状ありますけれども、これまで電気柵とかいろいろなあれは支援はしていると思うんですが、新たなイノシシ対策というか、そういうようなもので何か考えているものはあるのでしょうか。

農業振興課長 やはり有効な手だてというのが、今現在、電気柵以上のものはないというふうな状況であります。専門家等のご意見等を聞きながら、いろんな対策について新しいものがあれば取り入れていきたいというふうに考えているところですが、今のところは特にないというふうな状況でございます。

議長 ほかにございませんか。

5番 私も17ページ、農林水産及び鳥獣被害のことで質問をさせていただきます。前に、緊急銃猟は舟形町では最初考えていないということだったんですけれども、考えはもう、緊急銃猟がもうしなければならぬという状況のときは行うという考えに変わったのでしょうか。

農業振興課長 当初から絶対にしないというわけではございません。なるべくリスクが高いものを実施しないで、例えば追い払い等を中心に行っていこうというふうな方針については現在も変わりはありません。

5番 それで、春、春熊の駆除が今度は課題になってきているわけですが、そういう観点に対してはどのようなお考えがあるのか。

農業振興課長 春の熊の出没に関しては、個体数の調整ということで有害捕獲の許可が県のほうからいろいろ配分されるというようになっておりますので、そちらのほうで可能な限り対応していくというふうな形になると思います。

5番 ぜひお願いしたいと思います。幸いにも舟形町の場合、熊の被害、人的被害はないわけです、ありがたいことに。ただこれは今がないだけであって、いつ何どき起きるか分からないので、最悪の事態も想定しながら今後取り組んでいただきたいと思います。

町長 緊急銃猟につきましては、市街地に熊が出没したときでありますので、山とか、そちら農地のほうにいる場合については、緊急銃猟ではなくて通常の捕獲であったりというふうなことでありますので、まずは、市街地に熊を寄せつけないということが大事だというふうに思っておりますので、そういう緊急銃猟を必ずやらないということではないんですが、なかなか今、農業振興課長が言ったとおりリスクが大きいというふうなところもありますので、できれば、熊等については里山とか山の段階での捕獲というふうなところに限定していきたいというふうに思っていますし、逆に言うと熊が出没するようなところについては、我々人間のほうも熊鈴等とかいろいろ音を出すものを持っていくとか、そういう注意をしながら共存共栄をしていかなければいけないのではないかとこのように思っていますので、いずれにしましても、町民に対してもそういった警戒対策というふうなものを徹底してまいりたいというふうに思います。

議長 ほかにございませんか。

2番 14、15ページの2-1-22総合経済対策費でありますけれども、右側の説明のほうの5番で農産物直売施設空調設備省エネルギー化推進事業とありますけれども、これ全協のほうで説明を受けたわけですが、各課から28個の提案を出して、そのうちで選択されたと思いましたが、今回、物価高騰対策という項目の中で、この施設の空調に係る導入にするということになった理由というのを教えてください。

農業振興課長 ただいまのご質問にお答えします。

こちらの産直施設のエアコンにつきましては、開店当初から更新しておらないもので、もう20年以上経過してございました。それで、エアコンの能力もかなり落ちてきて、また使用電力も非常に大きかったということで、こちらを省エネルギー化というか、現在のエアコンに交換することで省エネになって、電気料金の高騰対策にもつながると。また、農業者の支援、そして消費者の支援になるものと考えているところでございます。

2番 施設、ここの物価高騰対策であるものなのかなと。ほかの、例えば新年度予算とかそういう部分でできないのかなと。今説明で町民とかいろいろ出ましたけれども、この今回の物価対策的なものにちょっとそぐわないのではないのかなとちょっと感じたもので、思ったんですけれども。ちょっと一つお伺いします。まんさく自体の経営の契約というのは、どの程度町が関与するというか、なっているのか、ちょっと改めてお伺いします。

農業振興課長 まんさくについては、施設については町の所有物でございまして、町の観光物産協会のほうに10年間の長期の無償貸付けをしております。まんさくの会という産直施設の会がありますが、その会員が町の観光物産協会と契約して、その中でテナントのような形で運営をしているというふうな形でございます。

2番 産直まんさくがオープンしたときの経費的に、空調設備も当然そのときに分かっていたのかなと、逆にそのときに提案していただいたほうがよかったのかなと思います。今回、やはり国からの、まず物価高騰対策という事業費の中で、違う、新年度予算とかそういうものであればちょっと理解できたんですけれども、この高騰対策になぜ28の中から選ばれたのかなとちょっと思ったもので、まず施設的なものは町でという考えで、町でこうするという形で、維持管理的なものな考えで間違いないでしょうか。

農業振興課長 町が必ず管理費を出していくというふうな契約にはしてございませんでした。その都度、町観光物産協会と町とが協議しまして負担を決めていくというふうな形にしております。また、今回の交付金の活用につきましては、省エネルギー関係というのは、物価高騰対策に合致する推奨事業の一つとして挙げられているというふうに理解してございます。

議長 ほかにございませんか。

1番 16、17ページの第3款民生費、社会福祉費、福祉の町推進費の中の灯油購入助成事業扶助

費ありますけれども、72万5,000円。従来からあったと思うんですが、非課税世帯を対象にしたものと同じものなのか、その辺ちょっと対象者の内容をお願いします。

健康福祉課長 これについては、従来の非課税世帯の方で同様のものがございます。

1番 大体どれぐらいの、何リッターぐらいのあれなんでしょうか、支給の。

健康福祉課長 扶助費の72万5,000円の積算を申し上げます。2,500円分を290人、290世帯に給付するというものがございます。

1番 では、その利用の期間というのはどのぐらいになっているんでしょう。

健康福祉課長 去年からなんですけれども、おとしまでは町内の業者で使える商品券的なもので交付していました。昨年からキャッシュ、現金で振り込むようにしていますので、それは期間とか関係ないので燃料費に充ててくださいという意味で、去年から現金でやっていますので、今回も2,500円は、昨年11月に1回5,000円分を振り込んでいます。それに加えて、県の補助で2,500円ということがつきましたので、それを追加で今回給付するというものがございます。

議長 ほかにございませんか。

3番 今回の新たな事業そのものに対する質問じゃないんですけれども、今回も15ページの3番に物価高騰対策プレミアム付き商品券発行事業ありますけれども、これも昨年度も発行されていると思います。これもちょっとある方からなんですけれども、発行当日ですけれども、商店に買いに行ったらもうなかったというふうな話がありました。それも午前中に行ったらもうなかったというふうな話だったんですけれども、そういうふうな問題、ちょっと町のほうには上がってきているのか、お聞きしたいと思います。

ふるさと応援推進室長 ただいまのご質問につきまして、町のほうにもそういった情報のほうは入ってきておまして、そのため防災無線等で売り切れましたというような放送もさせていただいたというふうに記憶しております。その原因につきましては、まず、11月10日の日に商品券を発行いたしました。それで売れ残った部分といいますか、そちらのほうを12月22日に売れ残り分というか、その分だけ再販売というか追加販売というようにところで行いました。ですので、その追加の部分について、12月22日時点では多分数百冊程度しかなくてそういった状況になったのかなというふうに思っておりますけれども、11月から1回もまず買われていない方につきましては、いつでも買える状態なものですから、12月22日時点で何冊あったという、正確なところは私のほうもちょっと押さえていないところではございますけれども、そういった売れ残った部分の追加販売だったというところでご理解いただければというふうに思います。

3番 その方言うには、その店で事前に予約を取ってしているんじゃないかというふうな、その方はそういう考えだったんですけれども、そういうことは行われていないというふうなところ

るでよろしいでしょうか。

ふるさと応援推進室長 そういったところはないというふうに私のほうでは思っております。先ほどお伝えしたように、11月発売からまず購入されていなかった方につきましてはいつでも購入できるという状況でありましたので、そういったところで誤解というか、そういったところも生まれたのかなというふうなところもあります。

議長 ほかにございませんか。

6番 鳥獣被害関係です。17ページ、猟友会に対する報償費について。

議長 奥山さん、マイク使ってください。

6番 すみません。報償費についてお聞きしたいと思います。

昨今につきましては、降雪期に入り、熊、イノシシ等の放送等がなくなったということで安心しているところではありますが、昨年についてはかなりの猟友会の方々の出動回数があったのかなというふうに思います。そういったところで、現在における報償費の額ちょっと教えていただきたいんです。要するに、熊1頭駆除した場合は幾ら、あとイノシシ1頭駆除した場合は幾ら、そして猟友会の方々が出動した場合、時間給が幾ら、そしてまたその支払いの仕方というのは、出動された、また駆除された方々の個人の方々への支払いになっているのか。この辺についてお聞きしたいと思います。

農業振興課長 まず初めに、その報奨金というか、その奨励金のような捕獲奨励金の単価でございますが、町の単独事業で、熊については1頭2万円で、イノシシについては町単独で1万3,000円、国の補助として7,000円。あとは夏場については、県のほうで捕獲が大変困難だということで8,000円の追加がございます。そちらは、県が4,000円、町が4,000円というふうな負担になりますが、基本的には、通常期で、イノシシの場合は夏と通常期で変わるわけですが、1頭当たり2万円を交付するような形で今年度は実施してございます。

続いて、猟友会の方、実施隊員になりますが、実施隊員の方が活動した場合の日当については1時間当たり2,000円を交付してございます。その2,000円につきましては、農林水産省の対策の交付金を充てているところです。現在の支出額というか支出見込みの部分もあるんですが、年度内で、年度末に精算というふうなことを考えておりまして、まず100万円、全体予算で100万円あるんですが、数十万円になっている模様です。

しかしながら、精算してみても見込みをつけまして、不足する部分については、国の交付金は最初に決定額を超えて交付はされませんので、3月補正予算等で不足分を町単独で予算確保できないかなというふうに考えているところでございます。

支払いの方法につきましては、基本的に会員のほうにお支払いしておりますが、会員の中で、猟友会のそれぞれの会費というか、そちらのほうに充てることをしているようでございます。そちらについては会員の判断でやっているものでございます。基本的に町としては会員へそ

れぞれ支払いをしているところでございます。

6番 私が知りたかったのは、報償費が猟友会の団体のほうに行って、そこから個人に来ていないとは言わないけれども、何かスムーズにいていないような話も聞いたもんですから、個人個人に行っているというふうな今課長の答弁でありますので、安心したところでもあります。やはり会員の活動量がかなり増えておりますので、確保する観点からもそれなりの報償費を出していかないと、なかなかやってくれる人が出てこないというふうに思いますので、やはりできる限り個人のほうに支払っていただきたいというふうに思います。

ところで、熊は最終的にさっきイノシシは2万円と分かったんですけども、熊1頭は総額では幾らになるのでしょうか。

農業振興課長 説明が悪くて申し訳ありません。熊も2万円ではありますが、国や県の補助がないので、町単独費で1頭当たり2万円を奨励金として実施する予定となっております。

議長 ほかにございませんか。

2番 すみません、14、15ページの2-1-22で、先ほどした9番の保育園完全給食導入事業でありますけれども、ちょっと改めて答弁、報告的なもので答弁が欲しいんですけども、先ほどIHの導入について保育園の先生ということありましたけれども、町長からちょっと小耳にはさんで、ちょっと場所的にスペースがないという話だったんですけども、それで間違いなければ、答弁をお願いします。

教育課長 ただいまの質問に対してお答えしますが、説明不足で申し訳ございませんでしたが、実際の物理的なところなんですけれども、調理室が完全給食を想定しての造りになっていなかったというふうなところで、やはりスペースが狭いというふうな理由も一つございます。そんなこともありまして、IH炊飯ジャーだとガス釜よりも小さいと。炊飯ジャーであれば今のスペースの中で収まるというふうな判断もございまして、IHの炊飯ジャーにしたというふうなところでございます。

以上です。

2番 ありがとうございます。分かりました。

議長 ほかに。

5番 17ページ、鳥獣被害。一つだけ確認しておきたいんですけども、全国的に何か狩猟免許、免許を取得する方が増えてきているような報道がありましたけれども、当町においては狩猟免許の受ける方は増えてきていないのでしょうか。その辺だけお聞かせください。

農業振興課長 数年前に新たに取った方が何名かいらっしゃいますが、今年度新たに取得したという方の情報は聞いてございません。

議長 ほかにございませんか。

3番 15ページの、先ほどから質問ありました舟形ほほえみ応援商品券についてですけれども、

改めてですけれども、この商品券の発行時期と使用できる期限を改めてお聞きしたいと思います。お願いします。

ふるさと応援推進室長 こちらのほうにつきましては、舟形ほほえみ商品券のほうを2月下旬に各ご家庭に発送したいというふうに考えております。利用期間につきましては、3月1日から8月31日までの期間でご利用いただければというふうに思っているところでございます。以上です。

3番 世帯主の方に家族分まとまって送られてくるというふうな認識でよろしいでしょうか。

ふるさと応援推進室長 今議員がおっしゃられたとおり、世帯主の方に対して家族分まとめて発送する予定としております。

議長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 質疑なしと認め、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 討論なしと認めます。

これより議案第1号を採決いたします。議案第1号を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

議長 起立多数です。よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

日程第8 議員派遣の件

議長 日程第8 議員派遣の件について議題といたします。議員派遣の内容につきましては、本日配付したとおりでございます。朗読は省略をいたします。

議員派遣についてご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 異議なしと認めます。

よって、議員派遣につきましては原案のとおり決定をいたしました。

これで本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。令和8年第1回舟形町議会臨時会を閉会いたします。

慎重審議、ありがとうございました。

午前10時59分 閉会

上記会議の経過を記載し、その相違ないことをここに署名する。

議 長 齋 藤 好 彦

署 名 議 員 小 国 浩 文

署 名 議 員 石 山 和 春